Ė

至

吾

Å

覺

櫯

₹/

ッ

ァ

ノ貫徹

ス ıν

便 常二

ひ リト

ナ

ル足場ヲ得ナ

1

ノヲ殊ノ外殘念ニ思フテ居

矢張

近り明治:

初年頃

デ

ァ

ル私

此

想到

ス

v

毎ニ今日ノ現狀

ハ之ニ對シテ頗

ル遺憾ニ ル此國家的 火狀態デ 果

し威ズ

w ,

ノミ

ナ

ラ

ズー

面自分

ハ我微

意

デ無論植物學

モ

亦其

= グ 居

N 思

ノ問題ニ就テハー般ニ之ヲ等閑

爑

ジ

ンテ國

三盡

皿サネ スル

N

ナラヌノデ

アッテ

若シ

民

ナ

ガラ國 農民

ナ =

丰

Æ

7

植

物 =

= 一盡サネ

الار

ナ

ラヌ義務ガア

、ル軍人

()、武

シテ國 デ

=

盡シ

ハ農ヲ以テ國

盡シ其他各種

ノ國民皆各其分

學ヲ我生

ŀ

æ

ノ故之ヲ以テ國ニ盡

テ世間

ニハ我身ノ利害バカリ考へテ表

面

ノハ立派

タル

, ナ

者ガ舉ッテ國

ノ爲メ、

ヌ者ガ隨分多クア

n

ガ

我植物學ノ方面

9 デ 國民 國 ラ以 =

リハコンナ人ハー人モ出シタクナイ其レ故平素私

今日

植

Æ

ŀ

、テ居ル我帝國ハ何レノ事ニモ是非トモ少ナクモ東洋ノ中心ニナラネバナラヌ

換言スレバ「帝國ノ植物學」ノ爲ニ共同一致シラ事ニ當ルノ 覺悟ガアリタイ

私

八平素植

物學ニ

我身ヲ委ネ之ヲ以テ我邦

殉

セ

ント

スルモノデアル私

ハ我日本帝國

ノー國民

デアル以上國家

## EH

植

## 第 卷 第二號

大正五年四月二十五日

## 人 譽 悟

本文ハ昨年九月某誌ニテ發表セル論旨ノ一部ヲ故ラニ修補再錄セルモノナリ

收 野 富 太

郞

コトヲ言ッテ居ッテモ實際 面目ヲ全ウシタイト覺悟シテ居 盡ス ノオ赤誠 ぶハ國 ニ ۱ر iv 非國 對 ス v 民デアル私 事 ナド ۱ 少シ

をシュエ v 事 ハ我邦今日 一十年 ・ハ決 ノ植物學 テ

短

キ

間 モ

デ

ナ

1

ガ

ill:

間

植物學 ノト同様

テ之ヲ憂ヒ

ラ

H -t-x

ヲ 送

ッ

ŋ

平

7 'n

如ク感

ラ

v

テ ŋ

ナ

ラ

チ 7

1

維新

後

靐

A

僺

悟

(28)行 級 Ħ 四 年  $\mathcal{F}_{i}$ Œ 大 英 璺 ァ 植 ナ 抑 ガ Æ Ħ 睡 = 資 決 切 テ デ ゕ゚ Æ 鮮 紹 w 1 **3**/ = 物 ヺ テ 名譽 我 ラ 對 吾 敎 對 壆 心ショ 我 ァ H ナ ス 確 **-**Á 育 子者 Ŋ. 帝 者 我 邦 才 w w w ٨ ス 植 獨 國 界 蓚 Ú 憂 識 邦 Ė w 國 大 ۱د ۱د Ť, ŀ ス 物 遺 等 讆 國 家 決 論 時 ラ 責 問 徹 べ 他 = = 學 植 ℧. 局 努 在 慶 Ñ 慽 = ୬ ۸. 並 底 キ 顲 = 不急 草 及 士 必 テ 朋 'n テ 物 ッ デ ガ 1 = 也 ŀ 計 訯 官 點 萝 ŋ × ブ 汖 , べ 韻 ヲ 7 w 所 痛 題 見 Ŀ 行 オ 會 , \_ デ 7 ŧ 4 w ナ = 社. ァ ラ 浲 1 多 デ 對 歏 科 , ヲ 地 ゥ 叉 ŀ = = 事 爰 w 秋 着 我 檔 倍 宓 會 1 ۱ر ż デ ナ = Æ セ ァ テ 天 若 立 裻 -ネ 能 擦 ŀ ŀ デ゛ ス ス 面 郭 ۱د 息 餘 1 シ w 7 Æ ·w ッ カ ٠V 1) ク ٠, ۱د ₹/ 吾 1 Ź 之レ 無用 關 吾 此 天 責 ラ デ 植 ŋ ス 7 ₹⁄ 7 Ã ッ iv 交涉 ヲ 係 Ā 血 w 在 大 ガ ァ 研 ラ 物 -}-` ٧. 我 學 究 知 ァ 如 <del>.</del> ヲ ラ ヌ ァ , = ヶ 學 甚 輕 λ 室 我 ッ n ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚ 國 \* 斯 ゥ 7 æ 邦 w テ 天產 決 今 = -}-Ŋ, デ 時 ン デ 7 デ 豖 邦 維 ٧٠/ = 居 ジ 1 ァ ァ 壆 ŀ **≥**/ ₹/ 毛 Ħ 睸 ナ 葙 新 官 Æ ر 安逸 テ無 w 姿 ク 國 名 我 ۱۷ , w w ヲ ヺ ラ 物 Ĩ ž 拘 譯 ト 礈 多 振 放 植 邦 國 ガ ŀ カ 壆 ヌ ク ۱ タビ グ 念. キ 内 彈 危 ラ ラ ラ ナ 活 言 作 ッ 1 者 物 ッテ 寒温 爲 貪 テ 鬡 植 デ = デ ゥ フ ₹/ ン 眼 ズ 沈思 思 思 之 樣 物學 廣 責 ィ テ = 7 メ ハ w ヲ 居 我 熱 場 ŀ 第 開 ナ 有 フ 近 ナ D w 任 =熟 所 邦 合 者 我 1 眼 苚 ヲ 對 w ハ 1 ֓֞֞֞֝֞֞֞֞֞֓֓֞֓֞֓֓֓֓֞֞֓֓֓֓֞֓֞֓ 不 私 デ デ 者 デ 邦 誠 期 テ ゝ ₹/ 當 大局 徹 生 是 ア 流 此 テ ス ۱۷ Æ ۱۷ = v w = 植 ナ 底 切 現 此 ŀ 何 ۱۷ 1 之 植 如 1 Ż 望 物 狀 シ ٥٧ 1 1 ヲ 直 楯 根 俗 達 進 物 ヲ ν jν ス + ヲ 如 テ 雓 論 見渡 之 觀 偖 ガ 本 ガ 物 壆 = w 問 ŋ ネ 悟 重 孙 壆 今 題 タ ナ ŀ v 3 Æ 大 有 w ŀ ヲ ガ 速 w = セ 1 セ 時 デ 罪 べ 發 觸 基 ナ ズ = ୬ ۱ر هار ا カ 力 ラ吾 デ 勃 テ 1 + サ 擓 種 礎 رر ۱۷  $\nu$ = = 其 ッ Œ 我 漫 世 智 ナ 趣 セ テ 4 ヲ サ 然之 品 = 識 考 入 定 邦 1 ナ ス シ = 1 ŀ 是 慮 カ ŋ べ 種 近 ゝ メ 時 立 ノ為 、之ヲ專 植 當 例 眼 何 ヲ キ = V 研 事. ¥ ·資質 物 富 吾 範ヲ 放 者 ソ 方 究 問 ^ 學 國 帝 棄 À 斃 メ ガ = バ 題 門 多 國 ヲ 7 jν デ 墼 博 植 次 即 v v 備 行 宜 テ 期 植 = ク モ 退 物 物 置 チ テ 後 w ŀ 何 シ 壆 我 ス 7. 生 物 2 テ居 ラ 决 具 學 邦 べ ŀ, ク チ = 居 代 手 Þ シ 眼 キ 發 植 止 垂 IJ テ

者 デ 今

デ

展

基 決

w

此

如

有

樣 w Æ

ュ =

ヱ

吾人

我

帝 此 査

國 鋚 モ

植物學 亦其

爲

ż w デ

=

廉

覺悟決心ヲ要スルー

フ

テ 必要

扂

ŀ

デ ネ

7

w

ガ

ŧ

(必要 來

ナ ,

場

處

=

植 調

物學 査

ガ

一普及

シテ居ラ

ヌ

ッ

デ

7 =

w

調

杳

1

咸

Æ,

ŊŸ

又調

能

7

出

ヌ

ァ

'n

此

1

出來テ居

テ

オ

=

ŀ

邳

常

私

特

我

國

)

爲

=

遺憾

充

物

滅

N

ŀ 斷

一第誌雜究研物植 5 耆 多 テ 叉我邦商 カ 工 ズ之レ ラ早速 此 7 1 Æ 6 n 樣 西 智 點 根 植 , 本 即 ì ۸ر 洋 翿 Ξ 物 今日 調 |有若 ヲ タ ガ 學 = 绺 ラ人 チ ・モ櫻桃 八打擊 缺 理 杳 梅 10 ž ガ 7流行 僥倖 乏シ 想 デ ŋ テ = ۱۷ 通 アラ受 餘 出 Æ 及 岌 ٠ ・テ居 在 來 桃 ŀ ŋ الامر セ = Ш (ラ居 だ 無學 ケケ 來 云 デ ノ新花ヲ造リ世 ヌ然シ之ヲ救 ヌ 其進 一フ名 來 1 モ w 山楽が りあ花ヲ見テ デ ナ 力 n 例 イ是 アル ノヲ待ツ 10 = ル ヲ 證 定 ラ阻 璺 據立 其 物  $\nu$ Æ L ゲ 畢竟其調 維新 Ŧ jν 碍 v フ 7 ・テ居ル 見 根本 ーテラ = 故 ゝ **≥** 出 **| 萬事** 何デ ۴° モ ラ Ŭ 3 居 調 誤謬ヲ通 分 ゥ v ス 來 ・テ居 , , 即 杳 杳 w 西 Æ w / デ我邦 ゔ゙ 此 洋 7-コ チ ŀ ハ 基礎 少 等 1 ŀ 此 シ w ٨ ゙デ゙゚ ナ テ ī 植 シ = タ ガ 新 其 越 イ叉園藝植 10 3 A 物 モ ۱۰ 菊花 籌ヲ 花 n 調 出 シ 園 7 學 ナ ~ 欧テ居 藝 例 1 テ滑諬ニ 査 ۲ 皆學 \* 輸 者 普 ノが如 一ガ出 力 **分**類植物學 ガ 通 ス 物 問 w 今 園 來 \* ナ セ 小 テ居 盛藝植物 1 近 少シ ヺ 1 æ ヌ 名稱 西洋 事 是 1 基礎 デ 即 植 w V  $\mathcal{T}$ ガ n チ デ新 園 取 デ デ 物 Æ ŀ 智識 此 學 モ 兀 7 y シ ۸ر 荻 亂暴 議二 テ 澤 花 洋 ガ モ 研 山 ガ其 ナ 直 智 ヲ 方 園藝 浩 馳 ノ新 1 7 究 識 サ 面 方 叉 ズ セ Æ ヲ ₹ n ス 園 藝 學 -參ゼ 人農業 テ 得 影響 面 1 花 者 = ガ 拵 ŀ = ガ ۱۷ v 我邦 頗 缺 出 植 植 **≥**⁄ バ ₹/ 物 面 來 物 ヶ Įν w 3 闌 者 テ 學 テ 4 多 7 1 À デ 居 怠慢デ 居 今 ク デ Æ = 1 植 其通 殊 H 素 今 如 iv H jν 物 叉新 力 何 本 養 H 西 園 ラ ij ァ = ガ 方 自 植 洋 園 花 處 デ ァ iv

## 〇小學讀 本 くがいさう

富 太 郎

牧

野